

～ 免疫反応について ～

○リウマチ因子(RF)

リウマチ因子(RF)は自己抗体の一種で、関節リウマチ患者のおよそ8割の人が高値を示します。自己抗体は免疫機能の異常により、正常な細胞や組織を異物と認識し抗体を生成し自身を攻撃してしまいます。

○CRP

CRP(C 反応性蛋白)とは、炎症や組織細胞の破壊が起こると血清中に増加する蛋白質のことです。体内に炎症反応が起こると発症から24時間以内急速に増加し、ピーク後は減少していきます。炎症の重症度を知ることができます。